



春日井ロータリークラブ

2021-22 WEEKLY REPORT

クラブテーマ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

「ロータリアンとしての誇りを持ち、出でて奉仕を！」



会 長：成瀬 浩康 事務局：春日井市鳥居松町 5-45
 副 会 長：中川 健 TEL：0568-81-8498
 副 会 長：小川 茂徳 FAX：0568-82-0265
 幹 事：大原 泰昭 E-mail：ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp
 会報委員長：下田 育雄 HP：https://www.kasugai-rc.jp
 例会場：ホテルプラザ勝川



歓迎



国際ロータリー第 2760 地区

2021-22 年度 ガバナー

姓名 俊裕

生年月日 1951 年(昭和 26 年 3 月 1 日)

所属クラブ 安城ロータリークラブ

職業分類 スポーツクラブ

勤務先 株式会社 東祥

役職 代表取締役会長

所在地 〒446-0056

安城市三河安城町 1-16-5

2021年8月31日(火)2485回(8月第3例会)

先週の記録

幹事報告 幹事 大原 泰昭君

＜第 2 回理事・役員会報告＞

審議事項

第一号議案：7 月度開始貸借対照表承認の件

第二号議案：第 62 回春日井市菊花大会への協賛の件

第三号議案：第 41 回福祉の集いの協賛金の件

第四号議案：松本俊哉君の入会の件

上記の議案が全て承認されました。

報告事項

・8/26 第 1 回「新会員研修」について。

・第 9 回 WFF は無期延期となりました。

・第 45 回春日井まつりは中止となりました。

・ポイ捨て防止啓発キャンペーンへの参加について。

・春日井市青少年健全育成推進会議の顕彰者の推薦について。

・令和 2 年度中部大学春日丘インターアクトクラブ活動報告について。

・地区青少年交換プログラムについて。

・8/31 ガバナー公式訪問は内容を一部変更して開催されます。

出席報告

委員長 廣瀬 清司君

会員 52 名	出席 40 名	出席率 77.0%
先々週の修正出席	出席 52 名	出席率 100.0%

本日のプログラム

司会 名古屋城北 RC 舟橋 伸治君

・点鐘 名古屋城北 RC 会長 竹内 淑江君

・国歌 「君が代」

・ROTARY SONG 「四つのテスト」

・ビジター紹介 舟橋 伸治君

名古屋城北 RC 親睦活動委員長

2021-22 年度国際ロータリー第 2760 地区 杏名 俊裕君

ガバナー

2021-22 年度国際ロータリー第 2760 地区 細井 英治君

地区幹事

2012-22 年度国際ロータリー第 2760 地区 本間 育子君

事務長

・歓迎挨拶 春日井 RC 会長 成瀬 浩康君

・会長挨拶 名古屋城北 RC 会長 竹内 淑江君

・幹事報告 春日井 RC 幹事 大原 泰昭君

名古屋空港 RC 幹事 川口 直也君

名古屋城北 RC 幹事 小塚 美知子君

・ガバナー卓話 杏名 俊裕君

・御礼の言葉 名古屋空港 RC 会長 田邊 雅彦君

・点鐘 名古屋城北 RC 会長 竹内 淑江君

基本的教育と識字向上/ロータリーの友月間

例会予定	9 月 3 日 (金)	9 月 10 日 (金)	9 月 17 日 (金)	9 月 24 日 (金)
	例会 12:30~13:30	第 3 回 理事会 11:15~	例会 12:30~13:30	
	卓話 村瀬 昌史君	例会 12:30~13:30	祝福	休会
		クラブフォーラム	卓話 若草学園	
	(職業奉仕)		園長 加藤 圭一様	

ニコボックス報告

委員長 野間 峰彦君

- コロナの感染拡大が深刻です。緊急事態宣言に逆戻りならない事を願っています。皆さん、感染には十分お気を付け下さい。
- 卓話を楽しみに。 成瀬 浩康君
- コロナも治り、恥ずかしながら戻ってまいりました。バイ菌扱いせず、今後もよろしくをお願いします。 大原 泰昭君
下田 育雄君
- 誕生の祝福ありがとうございます。後期高齢者となりましたが、まだまだ元気です。 社本 太郎君
- アテンダンス表彰を受ける喜びで・・・。 小川 長君
- 初司会です。頑張ります。 下別府正樹君
- 菱川くん、岡本くんの卓話楽しみにしています。 大西 信之君
- 菱川さんと岡本さんの卓話楽しみにしています。 藤川 誠二君
- 卓話。 川瀬 治通君
- 祝福のお祝いありがとうございます。 場々大刀雄君
- 祝福の皆様おめでとうございます。 和田 了司君
- 祝福の皆様おめでとうございます。 加藤久仁明君
- 入会希望者松本俊哉君、よろしく御審議お願いします。 青山 博徳君
- 皆さまありがとうございます。
- | | | |
|--------|--------|--------|
| 芝田 貴之君 | 柘本 正樹君 | 岩村 幸正君 |
| 加藤 茂君 | 速水 敬志君 | 三上 努君 |
| 風岡 明憲君 | 岡本 博貴君 | 近藤 太門君 |
| 小柳出和文君 | 梅村 守君 | 加藤 昭博君 |
| 中川 健君 | 松尾 隆徳君 | 北 健司君 |
| 廣瀬 清司君 | 菱川 一馬君 | |
- ご協力ありがとうございます。

ニコボックス委員会

卓話

自己紹介

菱川 一馬君

皆さま、こんにちは。中部電力パワーグリッド春日井営業所の菱川一馬です。本日はこのような貴重な機会をいただきまして、誠に有難うございます。本日は私のこれまでの経歴など自己紹介を中心にお話しをさせていただきたいと思っております。

まず私は1968(昭和43)年9月23日に江南市般若町で生まれました。実家は燃糸業をしていましたが時代とともに廃業し、その後は父親の造園会社での勤めで生計を立てておりました。恥ずかしながら、正直あまり裕福な家ではなく世の中にボーナスというものがあることを知ったのは会社に入ってからでした。

小学校、中学校は地元の学校に通いました。学校の成績は恥ずかしながら下の方でした。

頭が悪かったことありますが、高校を出て働くか大学に進むか悩みましたが、自分なりに高校を出る時の方が景気は良く就職に有利になるのではと推察し、高校を出て働く道を選びました。高校の進路選択の時は、私が第一希望だった高校受験を母親が先

生に懇願していたことを覚えています。先生からは公立高校を受験する生徒の中で君が一番ボーダーラインだからと言われたことや、受験は頭だけ使えば良い、運動音痴な私に対して、体を使わないから大丈夫だと激励されたのを記憶しております。結果としては、幸いにして第一希望の小牧工業高等学校に合格することができました。

小牧工業では電気科に通いました。学校の成績の付け方が理数系に重きが置かれていたことや、私は理数系が好きだったことから、幸いにして成績は上位の方になりました。ギリギリで入学できたと思っていたのに、高校に入ってみれば成績が上位の方に行くなんてと不思議に思っておりました。また、部活は高身長だったためバスケット部にスカウトされましたが、ジャンプ力がなく補欠でした。人と人がぶつかり合うコンタクトスポーツやボールを使うスポーツは自分には向いていないとつくづく思いました。しかし折角入った集団競技の運動部だったので、就職に有利という教えもあり、石の上にも3年と自分に言い聞かせながら、いつも外周道路を走っていました。

高校3年生の就職先を選択する時は、中部電力を受験することとしました。志望動機は高校で学んだ電気のことが一番多く活かせる会社だと思ったからです。しかし私は、筆記試験の時に大失敗をおかしてしまいました。試験用紙の裏面まで問題があることに気付かなかったのです。今までの学校のテストでは表面だけ問題が書いてあり裏面は白紙でした。しかし会社というものは紙を節約するために裏面まで問題が書いてありました。所変われば常識が変わるんだということを強烈に、しかも人生の一大勝負の時に知りました。焦った私は、後日の面接で挽回するために、人事の人に裏面まで問題が書いてあることには気付かなかったことや、面接の質問には積極的に全問、返答をしたのを覚えています。胸のポケットには赤十字の赤い羽根を付けて臨んでおりました。例年、5人ぐらい受験して1名は落とされていましたが、丁度、私が受験した年は、電力会社は円高差益還元で電線の地中化が盛んな時期だったため、そのことも幸いし、その年は5人全員が合格することができました。本当に幸運だったと思っております。

そして、1987(昭和62)年に中部電力に入社しました。はじめに、電力センターの工務部門が営業所の配電部門か選ぶ時がありました。人事の人から営業所は女性がいると言われ、男子高校出身で女性とは無縁だったので、人事の人の誘導にのり営業所を選択しました。会社では主に配電部門の技術職を歩みましたが、いざ営業所に入ってみると電力センターよりもお客さま対応や設備トラブル対応が大変だと実感しました。雷が来ると当時は耐雷設備が整備途上だったため停電が頻発しており、一晩に変圧器が何百台も壊れることもありました。愛知電機から変圧器の臨時輸送を受けて、営業所総動員で戦場のよう復旧対応していたのを記憶しております。

初めての勤務先は一宮営業所で架空配電設備の設計を担当しました。自分が設計した電柱が本当にその場所に建つことに、目に見える達成感を感じました。次の勤務先は名古屋の中営業所で地中配電設備の設計や地中化の担当をしました。地中設備は工事が完了しても見る事ができず、完工図が無くなってしまえば、何百万円もかけた仕事が復元不可能になってしまう。完工図が本当に大切だということを知りました。また、地中化の工事経験をして、電柱が抜けるまでにすることは、電柱を建てるのに比べ何倍も大変だということ実感しました。

若い頃の趣味は、夏はスキューバーダイビング、冬はスキーで毎年沖縄、北海道や海外に旅行しておりました。若かったしバブル期だったので沢山遊びました。ちなみに恥ずかしながら、飛行機には2回乗り遅れたことがあります。沖縄で1回とアメリカで1回です。その時の経験から失敗しても何とかなるさという度胸は身につきました。また、バブル時期は、仕事帰りに飲みに行くのも当たり前で、夜9時ぐらいまで仕事をして、それから先輩とタクシーで居酒屋に繰り出していました。人一倍働いて、人一倍遊ぶという考えで、私も日本も非常に元気な時期だったと思います。

また、若い頃は自己啓発にも熱心に取り組んでいました。この頃までに取得した資格は、第3種電気主任技術者、第2種情報処理技術者、電気工事士、消防設備士、危険物取扱者、無線従事者、地山や酸欠の作業主任者、そしてなぜか秘書検定も取りました。

次に、入社10年目の頃、高卒としては珍しく本店転勤となりました。主にシステム開発の担当をしました。予算規模3億円を業務主管部署として一人で任されました。プログラムライン数3万行は一人で把握する限界だと感じました。終電で帰ったり、会社に泊まったり、さらに佳境に入ると会社近くのカプセルホテル通いを約1ヶ月間やりました。そのカプセルホテルからは年賀状が届くありさまでした。本店勤務は9年間続きましたが、まさにいばらの道だったと思います。

次に、副長時代には資材部門を経験しました。社外向けの仕事としては非常災害時の他電力応援の総元締めを担当しました。当時、電力会社による中央電力協議会という組織があり、どこかの電力会社が被災すると他の電力会社が応援に入ることが行われておりました。私が在任している時は、中越地震があり東北電力への応援派遣を実施しました。また、社内向けの仕事としては、東海地震、南海地震、東南海地震の3地震が同時に発生した時に備え、応急復旧資材の在庫の積み増しを実施しておりました。原子力、火力、送電、変電、配電、通信の各設備部門と協力して、応急復旧資材をどこに保管するか、保管する場所がない場合には防災備蓄倉庫の新築もしました。

もう一つ、副長時代の仕事として、日間賀島や篠島、佐久島へ供給している海底ケーブルの張替工事を担

当しました。海底ケーブルが劣化してきたのですが、約30年ぶりの張替で当時の経験者は引退しており、過去の完工書類を紐解いて手探りで仕事をしました。実際に張替工事をする時には、海底ケーブルを布設する台船にも乗船しました。GPSと4つのスクリーンを細かく制御し、海底ケーブルを寸分狂わず所定の位置に布設していく様子を目の当たりにし、日本の技術力の高さに感心しました。

次に課長時代には、常滑営業所、港営業所、中営業所に勤務しました。港営業所では2018年の台風21号により管内の停電率が15%と大規模停電の被害を受けました。この復旧には数日かかると覚悟を決めましたが、他営業所からの応援の力も借りて1日で復旧することができました。災害時の停電復旧で一番大切にしていることは、まずは復旧作業に従事する作業員の安全確保を第一にすること、次に、電気で一般公衆が怪我をしないよう危険性を取り除くこと、そして、その2つを成し得た上で早期送電を果たすこと。この安全を最優先する考え方は絶対に遵守することとしております。

色々と業務経験をさせていただきましたが集計すると、本店12年、支店5年、営業所17年と、普通の高卒が歩まない、色々な経験をさせていただきました。

話は変わりますが、今私は52歳です。名古屋市緑区在住で最寄り駅は名鉄の中京競馬場前です。通勤に1時間15分ぐらいかかります。家族構成は妻と男の子2人で、子どもは中3と小2です。結婚は30歳でしたのですが、子どもができたのは遅く、下の子が20歳になる時に私は65歳です。したがって最低でも65歳までは働く予定です。何か良い第二の就職口がございましたら是非ともご紹介をお願いいたします。趣味はドライブですが今はコロナ禍で自粛しております。早く普通の日常が戻ることを心待ちにしております。

最後に、今般の人事異動によって春日井市で勤務することとなり、さらに伝統ある春日井RCにも加入させていただき皆さまとご縁を結ぶことができました。今後、例会への参加や各種委員会活動を通じて、皆さまから多くのことを吸収し、精進を重ねて人間的に成長していきたいと思っております。どうぞご指導、ご鞭撻の程、よろしく願いいたします。ご清聴有難うございました。

卓話 会員増強委員長 岡本 博貴君

改めまして こんにちは 本日は拡大についての卓話をさせていただきます。

会員増強のポイントは、経験からロータリーのすばらしさを伝える

自分自身のロータリーの素晴らしい体験を伝えることが出来るかが重要なポイントです。

私はセブロータリーとの関わりで フィリピンの

子供たちの意識を変革する事業は本当に素晴らしいと思います。そして、組織も人が増えると活性化します。人が増えていいことは以下の点でしょうか。

- ・楽しくお食事できる
- ・職業奉仕の考えのもと 自身、会社の成長に仲間が多いほうが繋がる
- ・ロータリー事業の幅が広がる

そして、拡大傾向の組織は多くのメンバーが入るといふ事実があります。

皆さんグループとチームの違いはわかりますか？

グループとは、同じ思考や性質、趣味などを持つ人たちの集団のことです。ここには全員が共有する目的や目標はありません。

チームとは、複数の人間が同一の目的を持って動く集団を意味します。同じ目標を達成するために、役割分担をし、協力しあい、時に意見をぶつかり合わせながら動いていくのです。

今年のテーマは、みんなで一緒に会員増強がしたいんです！！委員会メンバーだけでなくすべての会員を巻き込んで増強活動をしていきます。

今年度は【チーム】として皆さんに協力して頂きます！

しかし、わたしは知り合いがいないなんて思っている人いるのではないかと思います。安心して下さい！

あなた近くには取引先の社長さん 支店長さん 気づいてないだけで多くの紹介者(候補者)がいます。是非紹介してください！ご清聴ありがとうございます。



点鐘 成瀬 浩康君



委員会報告 出席委員会 廣瀬 清司君



委員会報告 ニコボックス委員会 菱川 一馬君



祝福 会員誕生日



卓話 岡本 博貴君



祝福 アテンダンス表彰



幹事報告 大原 泰昭君



卓話 菱川 一馬君